

スペイン産
イベリコハムで
ヨーロッパの情熱を
発見しよう！



これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

日本におけるハモンイベリコ

市場の状況、アフリカ豚熱 (ASF) の衛生管理、ならびに安全性とトレーサビリティの保証

目次:

1. ASICI とスペイン・イベリコ豚産業。構造、経済規模、国際的な重要性。
2. 熟成ハム(ハモンおよびパレタ)の対日輸出。市場の推移と戦略的輸出先としての日本の位置づけ。
3. アフリカ豚熱 (ASF) : 主要な側面。疾病の性質と人への健康リスクが存在しないこと。
4. スペインにおける発生確認。地理的な区域設定と講じられた対策。
5. 衛生管理の現状。疫学的状況と監視システム。
6. ゾーニング原則と対外貿易の状況。規制の適用と国際市場の取引状況。
7. ハモンイベリコの安全性とトレーサビリティ。欧州の規制枠組み、公的管理、ÍTACA システム。
8. 長期熟成された加工肉製品: 追加的な安全保証。ウイルスの不活化と国際的な認知。

1. ASICI とスペイン・イベリコ豚産業

イベリコ豚インタープロフェッショナル協会 (ASICI) は、非営利の農産食品専門職間連携団体 (AIO) で、スペイン産イベリコ豚の生産部門 (畜産業) と加工部門 (加工製造業) を代表する各団体を対等な形でその傘下に収めています。

1992 年、業界の共通利益を代表し擁護することを目的に設立され、1999 年、スペイン農業漁業食料省によりイベリコ豚セクターの農産食品専門職間連携団体として公式に認定されました。ASICI は独立した法人格を有する団体で、『農産食品専門職間連携団体に関する法律第 38/1994 号』の規定に従い完全な行為能力を持ちます。

現在、同セクターはスペインの 17 自治州およびデエサが広がるポルトガルの特定地域内に分布する操業中の畜産農場 18,548 件以上、と畜場 59 件、食肉加工場 1,030 件から構成されています。2024 年 (直近の会計年度) には、ハモンイベリコおよびパレタイベリコ製品 1,300 万本の出荷が記録されています。イベリコ豚製品の品質基準を定めた法律 (王令



#EUAgripromo

欧州連合 (EU) は、伝統農業の
キャンペーン・プロモーションを
支援します。

これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

スペイン産
イベリコハムで
ヨーロッパの情熱を
発見しよう！



これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

4/2014)が施行されて以来、約 1 億 5,000 万本の原木が出荷されており、これは同セクターの品質管理、トレーサビリティ、構造的規模のレベルの高さを示しています。2025 年の確定数は、現在行われている 2025-2026 年モンタネラが終了した後、公表される予定です。

スペインにおけるイベリコ豚産業の経済規模は 35 億ユーロを超え、スペイン食肉産業全体のおよそ 8.5%を占めています。また、食肉産業全体としては、2024 年の売上高が 413 億 3,700 万ユーロにまで達し、国内最大の食品部門として地位を確立するとともに食品・飲料産業全体の 22.8%を担っています。

社会的観点から見ると、畜産・食肉サプライチェーンはスペイン食品産業における主要な雇用セクターで、食品・飲料部門の総雇用の 24.6%に相当する直接雇用 122,942 人を提供しています。その影響力は特に農村地域において顕著で、人口定着と経済基盤の維持に重要な役割を果たしています。

対外的には、2024 年、スペイン食肉産業の輸出額は 113 億 3,300 万ユーロで、前年比 0.8%の成長と大幅な貿易黒字を記録しました。これらのデータは、スペインの畜産・食肉サプライチェーンの構造的強靱性、国際志向、競争力を反映するものです。

2. 熟成ハムの輸出。日本は優先度の高い戦略的市場

ハモンイベリコおよびパレタイベリコに関して細分化された公式データは存在しないものの、スペインの熟成ハム全体(ハモンおよびパレタ)の輸出推移を見ると、明らかにその国際的な地位が持続的に強化されていることがわかります。

2025 年、輸出額は **7 億 5,057 万ユーロ**に達し、前年 2024 年に比べ **3.94%**の増加となりました。2019 年以降の累計成長率は **+64.01%**で、4 億 5,763 万ユーロから現在の 7 億 5,057 万ユーロまで増加しています(ICEX-ESTACOM データ)。2022 年から 2024 年にかけて特に顕著な伸びが数年間続いた後、直近 1 年は過去最高水準のまま横ばいとなっており、国際市場におけるこの産業の構造的堅牢性が確認できます。

輸出先を地理的観点から見ると、欧州が引き続き対外貿易の主軸を担っており、2025 年の輸出総額の 73.63%を占めています。しかしながら、アジアも徐々にその比重を高めており、金額ベースで **6,150 万ユーロ**、輸出総額の 8.19%に相当する規模にまで達し、戦略的成長地域としての役割が強まっています。

アジアの中でも、**日本は特に重要な位置を占めています**。2025 年、日本のスペイン産熟成ハム(ハモン)および熟成肩肉(パレタ)の輸入額は **2,186 万ユーロ**に達しました。直近の事業年度は前年比でわずかな調整(-0.83%)が見られたものの、構造的分析では明らかに良好な結果となっています。2021 年から 2025 年の累計成長率は **+194.19%**に達し、わずか 5 年間でその規模がほぼ 3 倍になったことを意味しています。



#EUAgripromo

欧州連合 (EU) は、伝統農業の
キャンペーン・プロモーションを
支援します。



これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

スペイン産
イベリコハムで
ヨーロッパの情熱を
発見しよう！



これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

この動きから、スペイン産熟成ハムおよび熟成肩肉にとって、とりわけ付加価値の高いセグメントにおいては日本は優先市場であることがわかります。日本は衛生面での要求水準が高く、消費者の情報感度も高い輸出先であることから、アジアの中でも特に戦略的重要性の高い国です。

日本市場の重要性は、スペインでアフリカ豚熱 (ASF) が確認された後の輸入一時停止措置が及ぼす経済的影響にも如実に表れています。スペイン食肉産業協会 (ANICE) が公表した 2026 年上半期の対外貿易データによると、スペイン産豚肉および内臓の対日輸出額は、2025 年 1 月から 6 月には 4 億 290 万ユーロでしたが、2026 年同時期には 9,060 万ユーロまで激減し、金額ベースで 77.5% 減、わずか 6 か月で 3 億 1,230 万ユーロの縮小となりました。

物量ベースでは、豚肉および内臓の輸出は 95,425 トンから 24,880 トンへと落ち込み、73.9% 減となりました。豚肉加工品への影響はこれまでのところ、まだ緩やかで (物量ベースで 17.4%、金額ベースで 14.3% の減少)、これは特に商業的保存期間が比較的長いこと、また 2026 年に入って数か月間は日本当局が定めた期日までに包装済みの製品については例外的に出荷を継続できたことによります。

これらのデータは、日本市場へのアクセスを回復することの経済的重要性がいかに大きいかを示しており、二国間の技術的対話とゾーニング原則を認知することの重要性を改めて強調しています。そうすることで衛生上の制限を汚染地域に限定することが可能となります。

その意味で、ASICI が EU との共同出資により日本市場で展開しているプロモーションプログラム『イベリコセンスを呼び覚ませ (*Awaken Your Ibérico Sense*)』には、日本の当局ならびに消費者双方の信頼を高めることを目指した戦略的なリフォーカスが盛り込まれています。また、このキャンペーンは、両国当局間の継続的な協力関係の下、科学的根拠に基づく正確な情報を伝えることを目的にプロモーションの範囲を拡大し、食品安全性、トレーサビリティ、そして業界全体としての衛生面の保証に重点を置いたより技術的で情報提供しやすい枠組みを取り入れています。

3. アフリカ豚熱 (ASF)。主要な側面

アフリカ豚熱 (ASF) は、家畜豚や野生のイノシシを含め豚科の動物にのみ感染するウィルス感染症です。動物間での感染力が高い疾病で、汚染地域においては厳格な監視および衛生管理プロトコルの適用が義務付けられています。

ASF は人獣共通感染症ではなく、ヒトに感染することはありません。ヒトの健康を害するリスクは一切なく、したがって食品安全性は完全に保証されており、豚肉製品を消費しても問題ありません。



#EUAgripromo

欧州連合 (EU) は、伝統農業の
キャンペーン・プロモーションを
支援します。

これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

スペイン産
イベリコハムで
ヨーロッパの情熱を
発見しよう！



これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

この疾病の影響は厳密には獣医学的な面と生産面に限られます。しかしながら、動物間での伝播力の高さと国際貿易に及ぼす影響力の大きさから、その管理には即時、協調的かつ技術的に厳格な衛生対応が要求されます。

4. スペインにおける ASF 発生の確認。地理的な区域設定と講じられた対策

2025 年 11 月 28 日、バルセロナ県セルダニョーラ・デル・バリエス市において、2 頭の野生イノシシがアフリカ豚熱 (ASF) ウイルス陽性であることが確認、報告されました。スペインにおいては、1994 年 11 月以来初めての事例です。

今回の発生は特定の地域のみ限定されており、感染確認されているのは野生動物のみです。国内の養豚場では感染例は報告されていません。

発生が確認された後、スペインは直ちに欧州規制および ASF に関する国家緊急対策計画に定められた措置を発動しました。感染地域の周辺 20 キロメートルを制限区域に指定し、さらに以下の区域に細分化しました：

- 半径 6 キロメートル圏内を高リスク区域、
- さらに半径 20 キロメートル以内までを警戒監視区域。

高リスク区域では、家畜の移動に対し厳格な制限が適用され、養豚農場における集中的な獣医管理と定期的なサンプリングが行われました。現在までのところ、感染地域内の農場で実施された検査の結果は全て陰性で、飼養豚の感染例は確認されていません。

同時に、野生イノシシの個体数管理が強化され、公的獣医機関は国家治安維持組織と協力して野生イノシシの個体数管理ならびに積極的かつ組織的な死骸搜索を実施しました。これらの措置は、半径 6 キロメートル圏内の区域とさらに 20 キロメートル圏内の区域の両方で行われました。

これに加え、指定された汚染区域外において本疾病が発生していないことを確認する目的で ASF に対する国家監視プログラムが発動されました。このプログラムでは、畜産農場、関連産業、と畜場における能動的および受動的サーベイランスに加え、第三国から持ち込まれる動物および動物由来製品に対する検査・監視を行い、感染の疑いが生じた場合、早期に発見できる体制を確保しています。現時点までに確認されたすべての発生事例は、設定された区域内の野生動物のみです。

この期間中、スペインには ASF を専門とする欧州の専門家チームおよび検査室診断の専門家が訪問し、講じられた対策が現場で適切に実施されているかを評価しました。これらの技術的調査・評価により、定められたプロトコルが適切に適用され、防疫・衛生対策が堅実に機能していることが確認されました。



#EUAgripromo

欧州連合 (EU) は、伝統農業の
キャンペーン・プロモーションを
支援します。

これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

スペイン産
イベリコハムで
ヨーロッパの情熱を
発見しよう！



これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

5. 防疫状況の現状(2026年2月26日付・農業省による更新情報)

スペインでは、アフリカ豚熱 (ASF) に対する恒常的な監視プログラムを継続して実施しており、畜産農場、関連産業、と畜場における検査・監視、野生動物の監視、ならびに強化されたバイオセキュリティ対策を組み合わせ、疫学的状況を継続的に把握する体制を整えています。

2026年9月10日現在、2025年11月に最初の発生が確認されて以降、野生イノシシにおける ASF 発生事例は 69 件、陽性となった個体は合計 386 頭報告されており、全てカタルーニャ州内の 13 の地域で確認されています。新たに確認された事例についても、引き続き、移動制限等の規制および封じ込め対策が適用されている区域内にとどまっています。

しかしながら、現在の状況を適切に理解するには 3 つの重要なポイントを押さえておく必要があります：

- 第一に、地域的な封じ込めです。新たに確認された事例についても、引き続き移動制限および封じ込め対策が適用されている区域内で確認されており、設定された区域外への拡大は見られていません。
- 第二に、監視体制の強度です。これまでに、11,891 頭のイノシシについて検査が実施され陰性結果が確認されています。これは能動的かつ体系的な検査体制が構築され、継続的に監視・追跡がなされていることを示しています。
- 第三に、飼養豚への感染が全く確認されていないことです。当局は養豚農場における監視とバイオセキュリティ対策を強化しており、現時点まで、家畜として飼養されている豚からは陽性例は一例も確認されていません。

全体として、本疾病は地理的に限定された区域に集中しており、集中的な監視、バイオセキュリティ対策および防疫措置の下で管理されています。

この体制は、疫学データの継続的な更新と、関係当局および生産セクターとの恒常的な連携によって補完されています。こうした継続的な監視と透明性確保の取り組みの一環として、スペイン農業漁業食料省 (MAPA) は、感染状況の推移と確認された発生事例を毎週、公式ウェブサイト上で公表し、ASF に関する最新情報とスペイン当局が講じている対策を誰でも確認できるようにしています。



#EUAgripromo

欧州連合 (EU) は、伝統農業の
キャンペーン・プロモーションを
支援します。

これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

スペイン産
イベリコハムで
ヨーロッパの情熱を
発見しよう！



これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

詳細情報は公式サイトをご覧ください:

https://www.mapa.gob.es/es/ganaderia/temas/sanidad-animal-higiene-ganadera/sanidad-animal/enfermedades/peste-porcina-africana/peste_porcina_africana

6. ゾーニング原則と世界の輸出状況

スペインの豚産業は、EU 第 1 位、世界第 3 位の生産規模を誇り、戦略的に極めて重要な位置を占めています。そのため当初は野生動物に限定された発生であっても、国際貿易において重大な経済的影響を及ぼします。

スペイン農業漁業食料省は発生が確認された当初から、即時かつ協調的な対応に努め、影響を受ける輸出証明書の予防的な発行停止、貿易相手国への透明性のある情報提供、日本を含む第三国の当局との継続的な技術協議、さらに個別の二国間協議の開催などを行ってきました。また、ゾーニング(地域主義)原則の承認とその適用に向け積極的な取り組みを開始しました。

スペインは責任ある輸出国として、外部からの決定を待つことなく先手を打って対応し、透明性と動物衛生の安全性を何より優先しました。

ゾーニング原則は、EU が認め、多くの第三国も受け入れている考え方で、衛生上の輸入制限を感染・発生地域に限定し、それ以外の国内地域については疾病清浄地域として扱うことを定めています。今回のケースでは、EU 法令に基づいて設定された区域内に対策を限定することで、感染・発生のない地域からの輸出を継続することが可能となっています。

スペインは年間約 88 億ユーロ相当の豚肉・豚肉加工品を輸出しています。今回の発生確認を受け、一部の衛生協定に調整が生じたものの、市場の全面的な閉鎖には至っていません。

ゾーニング原則の適用により、約 51 億ユーロ相当の輸出先である EU との貿易は引き続き通常どおり行われています。また、輸出額約 11 億ユーロの戦略的重要市場である中国も、感染地域を除き、輸入を継続しています。同様に、英国、韓国、フィリピン、シンガポール、米国、カナダといった市場も引き続き取引を行っています。

全体として、スペインの豚肉・豚肉加工品の海外取引のうち 62 億ユーロ超は引き続き全面的に維持されています。このことは、今回の影響が重大ではあるものの、技術的な基準に基づいて限定され、適切に管理されていることを示しています。



#EUAgripromo

欧州連合 (EU) は、伝統農業の
キャンペーン・プロモーションを
支援します。

これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

スペイン産
イベリコハムで
ヨーロッパの情熱を
発見しよう！



これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

一方、日本やメキシコなど、一時的な輸入停止措置が取られている市場もあります。いずれの場合も、スペイン当局はゾーニング原則を認めてもらい、段階的な貿易の再開を促進するため積極的に取り組んでいます。

特に日本に関しては、両国当局の間で技術面での協力と制度面での透明性が維持されています。スペインは日本側から求められた資料をすべて提出し、適用している衛生上の保証措置について日本側の承認に向け定期的に協議を行っています。二国間の協議は、厳密に技術的な観点に基づいて継続されており、十分な衛生上の保証を確保した上で通常の貿易関係を回復することを目指しています。

7. ハモンイベリコの安全性とトレーサビリティ

スペインは、食品安全性と動物衛生の分野において国際的な模範国の一つです。その制度の強みは、リスクが存在しないことにあるのではなく、リスクを迅速かつ透明性をもって検知し、管理・対処する能力にあります。

ハモンイベリコの安全性とトレーサビリティは、食品安全性、動物福祉および公的品質管理に関して世界でも最も厳しい規制枠組みの一つである欧州生産モデル(MEP)に基づいています。その生産工程は、サプライチェーンのあらゆる段階において所管当局による継続的な監督と厳格な法令遵守が求められる EU の『農場から食卓まで』戦略に完全に準拠しています。

畜産農場から販売拠点に至るまで、すべての動物が個体ごとに識別され、すべての製品が包括的な管理システムの対象となります。イベリコ豚製品の品質基準を定めた法律(王令 4/2014)では、名称表示、ラベル表示、最低熟成期間、公式タグによる識別、および認定機関による認証について必須要件を定めており、これによって、全国で統一された基準と透明性が保証されています。

このセクターの重要な差別化要因の一つは、ASICI が開発した ÍTACA デジタルシステム(識別・トレーサビリティ・品質管理システム)です。ÍTACA は、生産現場から販売拠点まで全サプライチェーンを通して生産情報をリアルタイムで統合し、各製品に固有かつ個別のタグを付与します。このシステムにより、デジタルツールを用いて、製品のカテゴリー、イベリコ製品としての適合性、そして完全なトレーサビリティを確認することができます。

加工・製造の分野では、バイオセキュリティプロトコル、公的な獣医検査、そして検査・認証システムが、この管理体制をさらに強化しています。生産工程全体が完全にモニタリングされ、個体・製品単位のトレーサビリティが確保されるとともに、行政による継続的な監督が行われる生産モデルが構築されています。



#EUAgripromo

欧州連合 (EU) は、伝統農業の
キャンペーン・プロモーションを
支援します。

これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

スペイン産
イベリコハムで
ヨーロッパの情熱を
発見しよう！



これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。

全体として、欧州の規制、公的管理、独立した第三者認証、デジタル・トレーサビリティを組み合わせることで、スペイン産ハモンイベリコは、その製造工程の全段階において、安全性、透明性、そして技術的な管理が確保された製品として位置付けられています。

8. ハモンイベリコ: 熟成製品、さらなる安全性の保証

ハモンイベリコおよびパレタイベリコは、衛生上、公的管理を受けて生産された動物を原料とする長期熟成製品で、その製造工程自体が衛生面におけるさらなる安全性の保証となっています。アフリカ豚熱ウイルス(ASFV)は特定の組織や生肉中では安定して生存する可能性があります。ハモンイベリコやパレタイベリコのような長期熟成製品の加工過程で不活化されます。塩漬け、脱水、そして長期熟成(ハモンイベリコの場合は20ヶ月以上)の組み合わせにより、製品の物理化学的状態が変化し、水分活性が低下するとともに感染性病原体の生存に適さない環境が形成されます。

国際的な観点からも、国際獣疫事務局(WOAH)は、6ヶ月を超える長期熟成や適切な加熱処理といった特定の技術的プロセスはウイルスを不活化することができ、これらの製品を取引および消費上、安全な製品として分類することを認めています。

この技術的基準は、ゾーニングに関して制限的な立場を取っている国においても適用されており、こうした不活化処理が施された製品については輸入を認めている国もあります。

さらに、EUの食品衛生関連規則(規則(EC)853/2004、ハザード分析・重要管理点(HACCP)に基づく自主衛生管理システムなどを含む)では、食肉関連事業者に対し、生産工程の全段階において包括的微生物学的管理とトレーサビリティプログラムの実施を義務付けています。

したがって、ハモンイベリコとパレタイベリコは、優れた官能特性と伝統的な生産方法だけでなく、食品安全性を保証する科学的、法的・規制、技術的な裏付けも有しています。消費者は、これらの製品の品質と安全性について十分な信頼を置くことができます。



#EUAgripromo

欧州連合(EU)は、伝統農業の
キャンペーン・プロモーションを
支援します。

これは、欧州連合(EU)の資金援助を受けています。ただし、記載された見解および意見は著者のものであり、必ずしも欧州連合(EU)または農業漁業食料省 (MAPA) の意見を指すものではありません。欧州連合(EU)および資金提供機関は、それらに責任を負うことはできません。